

中村たいすけ
だより

発行責任者：中村泰輔 / 編集責任者：尾崎真太郎

情熱と行動 未来への責任

令和4年
3月議会

令和4年3月議会 予算総括質疑
農水経済委員会

▲3月議会予算総括質疑での登壇の様子

令和4年度が始まりました。今年は県議会議員1期目の最終年となります。1期目の集大成にすべく取り組んでまいります。2月には長崎県知事選挙が執り行われ、3月1日をもって、中村法道前長崎県知事が退任されました。中村知事の議場での退任挨拶では、本県の最大の課題である人口減少問題の原因として、真っ先に造船・エネルギー関連産業の低迷を挙げられました。これまでの産業を守る姿勢を維持しながらも、製造業を中心に他県が羨むような支援策を打ち出し、半導体関連産業や航空機関連産業など、新たな産業分野を生み出してきました。引き続き、大石新知事の長崎県政において、長崎県のためにしっかりと仕事をしてまいります。

経済、
新幹線、
海洋産業。

中村
たい
すけ



議員インターンシップ 中村たいすけ事務所第4期生



中村事務所から3度目の長崎県代表に選ばれました

大学生議員インターンシップ 全国ベスト8進出

年に2回、全国の学生が政策を競い合う議員インターンシップ「ドットジェイピー」の学生を受け入れています。今回で4期生となる長崎大学の学生たちでした。教育学部の菅田さんと工学部でプログラミングに熱心な大塚さんとのタッグでした。政策テーマは私も実際に取り組んでおります「無料学習支援・子どもたちの居場所」について取り上げました。日曜日の学習支援の現場に実際に手伝いに来てくれるなどして、現場の課題にも触れ、コンテストでは全国850チームの中で**ベスト8**に進出することができました。準優勝することになる北海道代表に敗れましたが、長崎代表として政策でしっかりと勝負をすることができました。

次回も、学生たちと一緒に「**30年後の日本を考える**」ドットジェイピーの議員インターンシップに取り組んでいきたいと思っております。

※千々石ミゲル夫妻の墓所と確定

諫早市多良見町の「千々石ミゲル墓所調査プロジェクト」。第4回目の今回の発掘調査で出土した人骨が男性のもので断定され、さまざまな調査の結果、こちらの墓所が正式に「千々石ミゲル夫妻の墓」とであると**確定**されました。長年墓所調査に携わられた関係者の皆さまにとっては待望と念願の結果となったことを私も感激と共に受け止めました。今回は微力ながら携わらせていただき、現地に立っている看板の支援者一覧に私の名前も載せていただきました。

これまで私費で、民間で行われてきたこちらのプロジェクトですが、このような歴史的な価値の大きな遺跡となり、自治体としても守っていかなければなりません。県と市が一体となって、長崎県のキリシタン文化の重要な遺跡として地元で受け継がれていくように、県の立場から私も引き続き協力をさせていただくつもりです。

※千々石ミゲル：天正遣欧使節に派遣された4人の少年使節の1人。4人の中では唯一棄教したと言われている。

千々石ミゲル墓所プロジェクト



支援者一覧に名前を載せていただきました

スマイルホームカンパニー 岩さんの挑戦



出島や稲佐山を一望できる
ロケーション

出島の地からの挑戦

応援している『岩素子さん』が出島の地で、来月から『スマイルホームカンパニー』という事業を立ち上げることとなり、見学に行きました。8階のビルからは出島、稲佐山、そして県庁跡地を見ることができます。

県庁跡地には今後、**産学官の連携**等、産業への貢献が期待されています。私はコロナ禍で存在感を発揮した長崎大学の**感染症研究を産業化**すべきと、過去2回の議会登壇で訴えてきましたが、長崎大学も先日、『感染症研究出島特区』という組織を設置して、ワクチン・医薬品開発を進めると表明しました。医療専門家である大石新知事とも連携して取り組んでいきたいとの思いです。

岩さんも長崎の中小企業経営者の願いを叶えたいという思いで挑戦します。年齢を問わず、挑戦できる長崎、そして出島の地となるよう私も取り組んでまいります。

お気軽に、ご相談ください。

中村たいすけ

☎ 080-5202-5721 🏠 長崎市みなと坂1丁目
nakamura.taisuke.nagasaki@gmail.com

